



「エンジョイベースボール」に学ぶ

「エンジョイベースボール」

今年の夏に、このフレーズを様々なニュースでお聞きになったのではないのでしょうか。これは、夏の甲子園で優勝した慶應義塾高校の野球理念です。

実は、この理念について学び、改めて羽合小学校教育を見つめなおす機会を得ました。

先日、中国地区小学校長会教育研究大会が米子で開催されました。その際、「甲子園名将に学ぶ人材育成」と題して、NHK 高校野球解説者 杉本真吾さん（米子市）が講演されました。今年は高校だけでなく、慶應義塾大学も明治神宮野球大会で優勝しました。杉本さんご自身も慶應義塾大学ご出身ということで、「エンジョイベースボール」の心の部分を話してくださいました。エンジョイというと、どんな時でも楽しむとことだと勘違いされる。しかし、そうではないということでした。そこには3つの大きなテーマがあるとのことでした。

①「全力で取り組む」

グラウンドでキャッチボールをする！球目から全力投球。だからこそ、グラウンドに来るまでに体や心の準備を万全にしておく。時間を大切にする。

②「周囲に十分配慮し、敬意を払う」

道具や施設・設備を大切に使う。そして、仲間の存在を大切にし、思いやる。

③「自ら工夫し、自発的に努力する」

監督やコーチからの指示を待つのではなく、自分で考え、実践し、ふりかえり、改善していく営みを繰り返す。

①について・・・学校は、子ども達にとっても教師にとっても勝負の場です。全力で自分自身と勝負したり、友達と高め合ったりできる場でなくてはなりません。

②について・・・職員には「児童のかけがえのない成長の1ページに敬意をもってかかわれる職員集団たれ」と伝えています。子どもたちにおいても、互いに認め合い、支え合える更なる人間関係づくりの大切さを実感しています。

③について・・・まさに、今年学級活動を通して研究を進めているところです。今年の研究を児童一人一人の学びの質の向上につなげていく必要があると考えています。

「エンジョイベースボール」ならぬ「エンジョイ羽合小学校」こんな気持ちで子ども達も職員も過ごせる学校であることの大切さを改めて実感しました。



校舎増築の進捗状況

校舎の骨組み（鉄骨）が完成し、屋根を葺いたり、壁の断熱材を吹き付けたりする工事に着手されています。少しずつですが校舎らしくなっています。土曜日にも工事がありますので、大型車両等が通行します。ご承知ください。